

第31回 愛知県作業療法学会

趣意書

第31回 愛知県作業療法学会

学会長 木村 綾子

このたび、第31回愛知県作業療法学会を令和5年6月11日(日)に、一宮市の尾張一宮駅前ビル(i-ビル)にて開催する運びとなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、感染対策を講じた上で4年ぶりの現地開催(オンデマンドとのハイブリッド開催)の学会を実現すべく、運営準備を進めております。

作業療法とは、「人と健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である」(日本作業療法士協会定義2018年)をいいます。作業療法の対象領域は、身体・発達・老年・地域・精神と多岐に渡り、それぞれの関わりは、予防から社会復帰までと広い範囲の対応が必要となります。作業療法に対する社会からの期待に応えられるように作業療法自体にも革新が求められてきていると思います。

本学会では、テーマを「作業療法 未来への提言 ～5年後、10年後、その先の私たちにできること～」とし、様々な施設での作業療法場面やそれに関連した独自の取り組み・システムなどを紹介する機会を設け、作業療法が医療・介護に関われることを改めて考え、その発展を促すような学会にしたいと考えております。

つきましては盛大な会の開催と成功のために皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。